



【ブロック支部からのお知らせ】

■第15回日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部学術集会

会長 花田 裕之（弘前大学大学院医学研究科 救急災害・総合診療医学講座 教授）

学会テーマ 「選ばれるプライマリ・ケア」

日時 2025年9月13日（土）14日（日）

会場 アピオあおもり（青森市）

開催方法 現地・オンラインのハイブリッド開催

参加費 日本プライマリ・ケア連合学会 会員 2000円、非会員 3000円

主催 日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部

共催 弘前大学大学院医学研究科 救急災害・総合診療医学講座、青森県

事務局 弘前大学大学院医学研究科 救急災害・総合診療医学講座

E-mail primarycare15@hirosaki-u.ac.jp

Web サイト <https://www.jpca2025aomori.com/>

基調講演 日本プライマリ・ケア学会 副理事長 前野哲博

特別講演 弘前大学大学院医学系研究科救急災害・総合診療医学講座 教授 花田裕之「プライマリ・ケアで使える Tips（仮）」

特別講演 六ヶ所村地域家庭医療センター センター長 松岡史彦「総合診療・家庭医の専門性とは（仮）」

症例ディスカッション 弘前大学医学部附属病院 平野貴大、ひまわり薬局城東店 川末真理「現場に活かす！情報共有の“ズレ”を読み解く多職種連携ワークショップ」

ワークショップ 十和田市立中央病院総合診療科 工藤千佳、町立西和賀さわうち病院 石亀慎也「とうほくポートフォリオ相談会」

ワークショップ 健生クリニック 宇藤直人「玄関診断学」

高校生/学生向けセッション 「医療者トーク in JPCA、ワールドカフェ（青森県との合同開催企画）」



開催報告

2025年9月13日(土)、14日(日)の2日間、青森市アピオあおもりにて「第15回日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部学術集会」を開催いたしました。テーマを「選ばれるプライマリ・ケア」として、患者や若手医療者、多職種にとって信頼されるプライマリ・ケアをどのように築いていくかを議論しました。

両日で多数の参加者を迎え、基調講演・特別講演・ワークショップ・中高生企画など多彩なプログラムが展開されました。一般演題でも多くの発表が寄せられ、活発な質疑応答が行われました。最優秀演題賞・優秀演題賞・奨励賞の表彰も行われ、若手の医療者や臨床家の励みとなりました。

また、青森県との共催により、中高生が参加できる企画を実施しました。将来の医療を担う世代が学会の雰囲気に触れ、地域の医療人と交流できたことは大きな成果となりました。さらに、情報交換会では地域の特色を活かした交流の場となり、職種や世代を超えたつながりが広がりました。

閉会式では、次回大会が秋田で開催されることが紹介され、会場全体で新たなつながりへの期待が高まりました。本学術集会を通じて、「選ばれるプライマリ・ケア」の姿を共有できたことは大きな成果であり、参加者一人ひとりの実践に活かされるものと期待されます。ご参加・ご協力いただいた皆様に心より御礼申し上げます。

(実行委員長 外崎奏汰)



【薬剤師部会】

①定例勉強会 (TPCA-P 勉強会)

2020年10月から開催している月1回の定例勉強会は、9月で49回を迎えました。

薬剤師だけではなく、医師や看護師と多職種参加の勉強会のため学びも多く刺激的ですが、その良さを伝えきれず新規参加者が少ないのが課題です。今後も、魅力あるテーマでの勉強会を企画してまいりますので、ぜひご参加いただけますようお願いいたします。

[2025年実施の勉強会]

第41回「どうする？トラック運転手なので・・・～糖尿病治療 次の一手を一緒に考えましょう～」

第42回 論文抄読会「PPIは胃を守る薬？腸を傷つける薬？」

第43回「ドキドキして眠れない」

第44回 論文抄読会「アレルギーの自己申告はアテになる？」

第45回「中堅看護師の学びを支える力とは？～コロナ禍経験を踏まえた論文報告から継続学習についてみんなで考えよう～」

第46回 論文抄読会「社会的処方 再び」

第47回「ドキドキ♥する患者さんにきちんと話を聞いてみよう」

第48回 論文抄読会「薬剤廃棄予防で目指す持続可能な医療」

第49回「薬剤師として食べない、食べれないにどう対応する？」

②TPCA-P 企画研修会（単位付き研修会）

1年に2回ほど企画している単位付き研修会です。今年は7月に七嶋和孝先生（長崎県・ななしま薬局）を講師にお迎えして漢方の歴史や使用方法をわかりやすくお話いただいたほか、薬剤選択の幅を広げるためのコツを頂戴した研修でした。10月25日には、JPCA プラネタリーヘルス委員会の豊田喜弘先生（悠翔会在宅クリニック流山）・大石和美先生（有限会社丸山薬局）を講師にお迎えして、医療・健康の視点でプラネタリーヘルスについて理解を深め、医療現場や地域で取り組める対策を考えたいと思っています。

③第15回 JPCA 東北ブロック支部学術集会「医療者トーク」

青森県とのコラボ企画のセッションで、薬剤師部会から遠藤東吾さんが講師として、青森県の医療職を志している中高生を前に進路選択の経緯、やりがい・魅力を伝えてきました。「なぜスペシャリストではなくジェネラリストを目指したのか」など質問もあり、中高生には興味をもっていただけた有意義な時間だったと感じられました。



(薬剤師部会 山田奈穂子)

【県支部活動】

■秋田県支部

○2025 年度 日本プライマリ・ケア連合学会秋田県支部学術集会

日時 2025 年 11 月 22 日 (日) 14:00～

会場 秋田大学医学部 医学系研究棟 総1 講義室

開催形式 対面開催

特別講演 細谷拓真先生 (細谷内科医院)

2026 年度の日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部学術集会は
秋田で開催の予定です。みなさまカレンダーへのチェックをお願いいたします。



■山形県支部

○山形発 EBM スクール

JPCA 山形県支部主催、置賜総合病院共催で毎年行っております「山形発 EBM スクール」を今年も開催します。今年は第5回目となり、10/18,19 の両日で会場は同じく置賜総合病院で行います。

今年も EBM の権化、聖母病院の総合診療科 南郷栄秀先生を講師にお招きしてのワークショップです。内容は、セッション1「製薬会社製品説明パンフレットの見方、使い方」、セッション2「診療現場での疑問の解決方法～2次資料の使い方、意見交換会」「総合診療医は夜つくられる～ごちゃまぜ語り場～」セッション3「作成過程から読み解く診療ガイドラインの使い方」となり、学生さんから医師、薬剤師など多職種で、楽しめる会だと思います。

是非、お誘い合わせの上ご参加いただければ幸いです。

10/10 ごろを目安に申し込みフォームからご連絡下さい。今回も合宿形式で夜の部もございます♪(宿泊なしでも大丈夫です)

(山形県支部 高橋潤)

みんなで楽しく学ぶ秋学期！
FROM YAMAGATA!
EBM SCHOOL vol.5
山形発EBMスクール vol.5
2025.10.18 SAT - 10.19 SUN
お申し込みはこちら
締切:10/10(金)まで

講師 聖母病院 南郷 栄秀先生
会場 公立置賜総合病院 研修室1
いいてまろましろさぎ荘(夜泊先)
山形県吉野町南郷1-1-1
会費 一般 10,000円 問合せ 新日本立病院 基橋 潤
学生 8,000円 E-Mail: tkhshj@icloud.com
【JPCA】専門医・認定医の生涯学習単位/専攻医のOff the jobトレーニング単位/認定薬剤師の生涯学習単位 申請中

program
1400～ 受付 聖母病院総合病院 研修室1にて集合下さい
1430～1600 センシブ(1)製薬会社製品説明(パンフレット)の見方、使い方
1600～1830 センシブ(2)診療現場での疑問の解決方法～2次資料の使い方
1900～ 質疑応答 総合診療医は夜つくられる～ごちゃまぜ語り場～
2000～2130 センシブ(3)作成過程から読み解く診療ガイドラインの使い方

主催 日本プライマリ・ケア連合学会山形県支部 共催 公立置賜総合病院